



セルバンテス

Miguel de Cervantes Saavedra (1547-1616)

スペインの小説家。アルカラ・デ・エナーレスの貧しい外科医の家に生まれ、正規の教育は受けなかった。1568年イタリアに渡って枢機卿の侍僕となり、70年にはイタリア駐屯軍の兵卒となり、71年、史上有名なレパントの海戦に参加して負傷し、生涯左手の自由を失った。75年帰国の途次海賊におそわれ、アルジェリアに奴隷として5年間苦難の生活を送り、84年に17歳も若いカタリーナ・デ・パラシオスと結婚し、翌年、牧人小説《ラ・ガラテア》を発表。87年文学をすててセビーリャで小麦買入係となり、92年と97年には金銭上の過失で投獄され、窮乏生活を送ったが、1605年《ドン・キホーテ》の前編を出版し、たちまち世人のかっさいを博した。その後《ドン・キホーテ》の後編を出すまで、戯曲集、短編集などを出版したが、生涯セルバンテスの生活は苦難にみちたものだった。

(「世界名著大事典」より)